

| | | | |
|---|---|--|----------------------|
| 学期 / Semester | 2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 3, 金 / Fri 4 |
| 開講期間 / Course duration | 2019/09/30 ~ 2019/11/22 | | |
| 必修選択 / Required / Elective | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20190587018901 | 科目番号 / Course code | 05870189 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code | GEMB 12941_005 | | |
| 授業科目名 / Course title | 環境と社会の共生 (地域の環境を考える) / Community and Environment | | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus | 深見 聡 / Fukami Satoshi, 濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki, 黒田 暁 / Satoru Kuroda | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course | 深見 聡 / Fukami Satoshi | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s) | 深見 聡 / Fukami Satoshi, 黒田 暁 / Satoru Kuroda | | |
| 科目分類 / Course Category | 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Intended year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Course style | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | 教養教育A棟42 / RoomA-42 | | |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class) | | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | 深見 : fukami nagasaki-u.ac.jp 黒田 : skuroda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください) | | |
| 担当教員研究室/Office | 深見 : 環境科学部4階・環438教員室 黒田 : 環境科学部4階・環431教員室 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 深見 : 095-819-2720 黒田 : 095-819-2732 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 深見 : 金曜日5時間目 黒田 : 木曜日2時間目 | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | 環境問題は、人間や自然の相互関係の複雑化にともない多様なものとなっています。それに対して、地域特性に注目した、持続可能な地域づくりのあり方を希求することで、人間と自然の共生を図ろうという各種取り組みに注目が集まっています。それらのなかに、環境に配慮することの必要性を学ぶ「環境教育」や「環境自治」の充実があり、近年特に重要視されるようになりました。そこで本講義では、「環境教育」と「環境自治」をキーワードに掲げ、私たちの生活に身近な長崎における事例や時事問題として関心の高まっている地域の環境問題をピックアップし、その本質に迫ります。 | | |
| 授業到達目標/Course goals | 1. 地域の環境問題を考える上で、「環境教育」や「環境自治」が果たす役割について説明できる。 2. 「環境教育」や「環境自治」の分野における地域調査の方法にふれ、その基本を習得する。 3. 持続可能な地域づくりのあり方について、長崎県内の課題を整理して問題点とその解決策を発表できる。 | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society | | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers | | |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation | レスポンス用紙への記入状況50% (深見担当分) + 講義中に出される小課題への応答50% (黒田担当分) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。 | | |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson | 詳細は授業計画詳細を参照 | | |
| 事前・事後学習の内容/Preparation & Review | 毎回の予習復習課題として、事前に配布した講義資料や参考文献等に目を通しておきましょう。 | | |
| キーワード/Keywords | 地域の視点、持続可能な地域づくり、ESD (持続可能な開発のための教育)、災害対応、地域再生、地域コミュニティ、環境ガバナンス、環境自治のしくみ、長崎県 | | |
| 教科書・教材・参考書/Materials | 教科書：使用しない。 教材：適宜プリント等を配布する。 参考書：深見聡『ジオツーリズムとエコツーリズム』(古今書院、2014年) 西城戸誠・宮内泰介・黒田暁編『震災と地域再生-石巻市北上町に生きる人びと』(法政大学出版局、2016年) | | |
| 受講要件 (履修条件) /Prerequisites | | | |

| | |
|--|---|
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考（URL）/Remarks（URL） | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 長崎県内各地のローカルな事例に学ぶことを通して、自地域や他地域、ひいては国内外へとグローバルな課題へと関心喚起につながることを目指します。 |
| 実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N） | Y |
| 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course | 深見 聡/NPO法人での実務経験/NPO法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会を設立し、代表として観光やまちづくり、環境教育の実務経験を有する教員が、理論と実際の両面から、エコツーリズムの現状等について解説する。/ |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回(10月4日) | I. オリエンテーション / 環境問題の多様化 |
| 第2回(10月4日) | II. 地域の環境と「環境教育」 環境教育の歴史-公害教育から国際理解教育へ- |
| 第3回(10月11日) | 環境教育のすすめ(1) 「科学リテラシー」に基づいた価値判断学習 |
| 第4回(10月11日) | 環境教育のすすめ(2) 「科学リテラシー」と環境問題の扱い |
| 第5回(10月18日) | 環境教育の深化(1) 持続可能な開発のための教育(ESD)とは |
| 第6回(10月18日) | 環境教育の深化(2) 「ESDのための10年」の取り組み -長崎県雲仙市の事例から- |
| 第7回(10月25日) | 環境教育と観光教育(1) 世界遺産・明治日本の産業革命遺産 |
| 第8回(10月25日) | 環境教育と観光教育(2) 世界遺産・長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産 |
| 第9回(11月1日) | III. 地域の環境と「環境自治」 災害と地域復興の現場(1) 震災による地域の「被害」とは |
| 第10回(11月1日) | 災害と地域復興の現場(2) 災害社会を考える |
| 第11回(11月8日) | 環境と地域のコミュニティ(1) 「地域」というまとまり |
| 第12回(11月8日) | 環境と地域のコミュニティ(2) 自治はつらいよ? |
| 第13回(11月15日) | 環境ガバナンスのしくみ(1) 環境自治の実態と課題 |
| 第14回(11月15日) | 環境ガバナンスのしくみ(2) 持続性のゆくえ |
| 第15回(11月22日) | 環境と地域の関係のあり方とは |
| 第16回(11月22日) | まとめ |

| | | | |
|---|---|--|----------------------|
| 学期 / Semester | 2019年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 3, 金 / Fri 4 |
| 開講期間 / Course duration | 2019/04/08 ~ 2019/06/07 | | |
| 必修選択 / Required / Elective | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20190587047301 | 科目番号 / Course code | 05870473 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code | GEMB 12961_005 | | |
| 授業科目名 / Course title | 環境と社会の共生 (資源管理論) / Introduction to Resource Management | | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus | 濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki, 重富 陽介 / Shigetomi Yosuke | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course | 濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s) | 濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki, 重富 陽介 / Shigetomi Yosuke | | |
| 科目分類 / Course Category | 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Intended year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Course style | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | 教養教育B棟34 / RoomB-34 | | |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class) | | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | h-hamasaki nagasaki-u.ac.jp (濱崎) y-shigetomi nagasaki-u.ac.jp (重富) (メールを送信する を@に変更して送信してください) | | |
| 担当教員研究室/Office | 環449 (濱崎) 環440 (重富) | | |
| 担当教員TEL/Tel | 内線2742 (濱崎) 内線2785 (重富) | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 月曜14:00-17:00 (濱崎) 木曜10:00-17:00 (重富) | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview | 水資源、希少金属資源(レアメタル)、エネルギー資源、資源の循環利用など、さまざまな資源がもつ特質を理解し、資源配分を決める経済的、政治的しくみと管理について、実例を挙げながら概説する。 | | |
| 授業到達目標/Course goals | さまざまな資源が持つ特質を理解し、資源配分を決める経済的、政治的しくみが理解できる。また、資源管理の主体となる組織の役割や異なる利害の調整の方法が理解できる。 | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society | | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers | | |
| 成績評価の方法・基準等/Method of evaluation | 濱崎・重富ともに、レスポンスシート(20%)、プレゼンやディスカッションなどへの参加意欲・貢献度(20%)、グループ発表(60%)を総合的に評価する | | |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson | 詳細は授業計画詳細を参照 | | |
| 事前、事後学習の内容/Preparation & Review | 各回の授業で行うグループワークおよびグループ発表のための情報収集が課される。 | | |
| キーワード/Keywords | グローバル社会, 資源管理, 利害関係, 持続可能な開発, エネルギー資源, 循環型社会 | | |
| 教科書・教材・参考書/Materials | 特に教科書は指定せず, 教員作成の資料に基づいて授業を進める。参考文献は毎回の授業で紹介する。 | | |
| 受講要件(履修条件) / Prerequisites | | | |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) /Remarks (URL) | | | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 現在と将来の資源を有効に利用するためのしくみを学びましょう。 | | |

| | |
|--|---|
| 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N) | N |
| 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 | 授業オリエンテーション (授業のねらい, 達成目標, 成績評価, グルーピングなど) 資源管理とは: 経済発展 (資源利用) と環境保全 (資源保護) のせめぎあい |
| 第2回 | 水資源の管理を事例とした資源の利用と保全?政治的観点から |
| 第3回 | 環境保全と資源保護に関する国際社会および日本の動向 |
| 第4回 | グループワーク |
| 第5回 | 資源管理の難しさを体感する貿易ゲーム |
| 第6回 | 貿易ゲームの振り返り, グループワーク |
| 第7回 | エネルギー問題 |
| 第8回 | 希少金属資源 |
| 第9回 | 廃棄物 |
| 第10回 | 循環型社会 |
| 第11回 | エコロジカルフットプリント |
| 第12回 | グループワーク |
| 第13回 | グループ発表 |
| 第14回 | グループ発表 |
| 第15回 | 総括・グループ発表講評 |

| | | | |
|---|---|--|----------------------|
| 学期 / Semester | 2019年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 3, 金 / Fri 4 |
| 開講期間 / Course duration | 2019/11/27 ~ 2020/02/07 | | |
| 必修選択 / Required / Elective | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20190587049501 | 科目番号 / Course code | 05870495 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering code | GEMB 15311_005 | | |
| 授業科目名 / Course title | 環境と社会の共生 (廃棄物の管理と処理) / Management of Waste | | |
| 編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus | 竹下 哲史 / Takeshita Satoshi, 濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course | 竹下 哲史 / Takeshita Satoshi | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s) | 竹下 哲史 / Takeshita Satoshi | | |
| 科目分類 / Course Category | 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Intended year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Course style | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | 教養教育A棟23 / RoomA-23 | | |
| 対象学生 (クラス等) / Intended year (class) | 教育学部, 経済学部, 薬学部, 水産学部 | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | juniper nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください) | | |
| 担当教員研究室 / Office | 研究開発推進機構 2F | | |
| 担当教員TEL / Tel | 095-819-2227 | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | メールで問い合わせ | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course overview | 廃棄物の処理に関する法律等を理解するとともに, 実際に廃棄物の分別を体験し, 廃棄物の管理と処理に関する知識と理解を深める。 | | |
| 授業到達目標 / Course goals | 日本の廃棄物処理のデータ分析と, 学内の「ごみ」の実態調査・分析から, 社会に必要な廃棄物の管理と処理について考察する力を身につけることができる。 | | |
| 知識・技能以外に, この授業を通して身につけて 欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) | 主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society | | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation | 毎回の授業への積極的な参加30%, レポート70%で評価し, 60%以上を合格とする。 | | |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson | 詳細は授業計画詳細を参照 | | |
| 事前・事後学習の内容 / Preparation & Review | シラバスの内容に沿った事前学習, および各調査・分析毎に簡単なレポート作成し提出する事後学習があります。 | | |
| キーワード / Keywords | 廃棄物 ごみの分別 ごみ処理の方法 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Materials | 教科書は使用しない。資料は適宜提示する。 | | |
| 受講要件 (履修条件) / Prerequisites | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) / Remarks (URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | 自分が住んでいる自治体で定められているごみの分別方法を正しく理解しておくこと。グループ活動を中心とした実態調査, データ分析, 課題抽出が主体となるので, 欠席の影響は, 次の講義, さらに個人だけではなくグループにも及ぶことを念頭に入れておいてください。 | | |

| | |
|--|---|
| 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N) | Y |
| 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course | 竹下 哲史/新技術事業団(現科学技術振興機構,JST)のプロジェクト研究員として動物細胞におけ るストレス応答機構に関する研究に従事。/プロジェクト研究員での実務経験を踏まえ,生命科学の 基礎知識を修得するための解説をしている。/ |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 | ごみの話,関連する法制度についての概要説明 |
| 第2回 | 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)の概要説明 |
| 第3回 | 居住地域のごみ分別方法について調査する |
| 第4回 | 居住地域のごみ分別方法の調査結果を分析する |
| 第5回 | 居住地域のごみ分別方法と他地域のごみ分別方法を比較検討し,「ごみを分別すること」について考 察する |
| 第6回 | 環境省「日本の廃棄物処理」から日本の廃棄物処理の現状を把握する?T |
| 第7回 | 環境省「日本の廃棄物処理」から日本の廃棄物処理の現状を把握する?U |
| 第8回 | 環境省「日本の廃棄物処理」から日本の廃棄物処理の現状を分析する |
| 第9回 | 日本の廃棄物処理の現状評価から問題点を抽出する |
| 第10回 | 長崎大学における「ごみ」の実態調査を行う?T |
| 第11回 | 長崎大学における廃棄物の分別・処理方法について理解する |
| 第12回 | 長崎大学における「ごみ」の実態調査を行う?U |
| 第13回 | 長崎大学における「ごみ」の実態調査結果の分析を行い,現状を評価する |
| 第14回 | 長崎大学における「ごみ」の現状評価から問題点を抽出する |
| 第15回 | 「ごみ」に関して長崎大学がかかえる問題点を解決するための方策を検討し,提案する。 |